

グラフや表を用いて書こう (SDGs学習と国語科の交流学习)

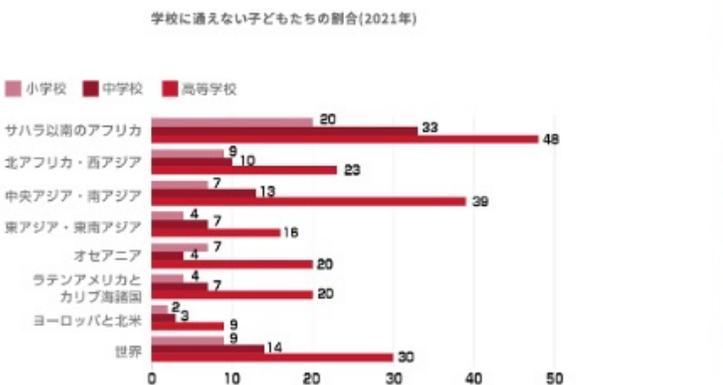
【学習課題】

資料の効果を考えて、
説得力のある意見文を書こう
～自分たちがつくる「持続可能な世界」～

世界中の子ども達に、笑顔あふれる質の高い教育を

井上希美

わたしは、世界のすべての子ども達が、学校に通えているのかについて調べてみました。なぜなら、インドへ旅した時に、学校へ通うことができずに昼間から家族のために働いている子どもに出会ったからです。日本では、小学校・中学校は、義務教育があり、子ども達は学校に通っていますが、紛争や自然災害、貧困などにより学校に通えない子どもが、世界には約6700万人いるそうです。わたしは、世界中の子ども達が学校に通い、質の高い教育を受けるチャンスを与えられることが大切だと思います。なぜなら、子ども達には未来があり、かなえない夢や将来の目標のために学ぶ必要があるからです。



上のグラフは、2021年の調査で学校へ通えない子どもの割合を示しています。一番上は小学校、真ん中は中学校、一番下は高等学校に通えない子どもたちの割合を表しています。これを見ると世界中のいろいろな場所で、子ども達が学校に通えていないことが分かります。私たちが生活しているヨーロッパと、サハラ以南のアフリカの小学校に通えない子どもの割合とを比べてみましょう。ヨーロッパは、全体のたった2%であるのに対して、サハラ以南の子ども達は20%が、小学校に通えていないということが分かります。つまり、サハラ以南のアフリカでは、五人に一人の子ども達が、小学校へ通えていない現実です。小学校、中学校、高等学校と棒グラフの割合を比べると、年齢が高くなるほど、学校に通えない子どもの割合は増加していることが分かります。世界全体で見ると14%、つまり七人に一人が中学校に通えず、高等学校では30%つまり三人に一人が学校に通えません。子ども達が学校へ通えないということは、学習のチャンスが与えられずに、文字を書いたり読んだりすることができず、自由な将来を思い描けないと思います。このような子ども達がいる現実には、世界の人々が目を向けて、自分たちができるところを考えていくことが大切だと思います。

このように、グラフをもとにして、世界には学校に通えない子ども達がたくさんいることを示すことができました。当たり前の様に学校へ通うことができているわたし達も、学校に通えない子ども達に目を向けることで、今学校で学んでいることに感謝がわいてきます。世界中の子ども達が学校に通うことができ、自由に希望にあふれた夢や将来を思いえがいたら、地球上にはもっと子ども達の笑顔があふれるでしょう。わたしは、ユニセフなどの国際機関に募金や寄付をしたり、さまざまな教育支援のプログラムをもっと調べたりして、自分のできる支援をしていきたいです。

【参考】 UNESCO Institute for Statistics, 2022 (UNICEF SDGs CLUB)

自分の考え・・・ピンク

その理由・・・水色

資料から分かったこと・・・緑

資料から考えられること・・・黄色

モデル文を分析(ぶんせき)し
どの様な資料を集めたら良いか考えよう

◎構成

初め

自分の考えの提示と
その理由

調べたこと・その理由
自分の意見・その理由

中

自分の考えを裏付ける
資料(グラフや表)の提示
その分析(ぶんせき)
解釈(かいしやく)
考察

- ①資料の説明
- ②資料から分かること
- ③資料から考えられること

終わり

結論

自分の考えのまとめ
行動宣言
参考にした資料名や
ウェブサイト

◎文末表現

・事実を伝える場合

〜分かります 〜現実です
このように〜なっています
〜といえます

・考えを伝える場合

〜ということとは〜思います
〜ということとは〜考えられます
〜といえるでしょう
〜をしたいと思います

地域	小学校 (%)	中学校 (%)	高等学校 (%)
サハラ以南のアフリカ	20	33	48
北アフリカ・西アジア	9	10	23
中央アジア・南アジア	7	13	39
東アジア・東南アジア	4	7	18
オセアニア	4	7	20
ラテンアメリカとカリブ海諸国	4	7	20
ヨーロッパと北米	2	3	8
世界平均	8	14	28

井上希美
世界中の子ども達に、笑顔あふれる質の高い教育を

わたしは、世界のすべての子ども達が、学校に通えているのかについて調べてみました。なぜなら、インドへ旅した時に、学校へ通うことができずに居間から家族のために働いている子どもに出会ったからです。日本では、小学校・中学校は、義務教育があり、子ども達は学校に通えますが、紛争や自然災害、貧困などにより学校に通えない子どもが、世界には約6700万人いるそうです。わたしは、世界中の子ども達が学校に通い、質の高い教育を受けるチャンスを得られることが大切だと思います。なぜなら、子ども達には未来があり、かなえない夢や将来への希望があるからです。

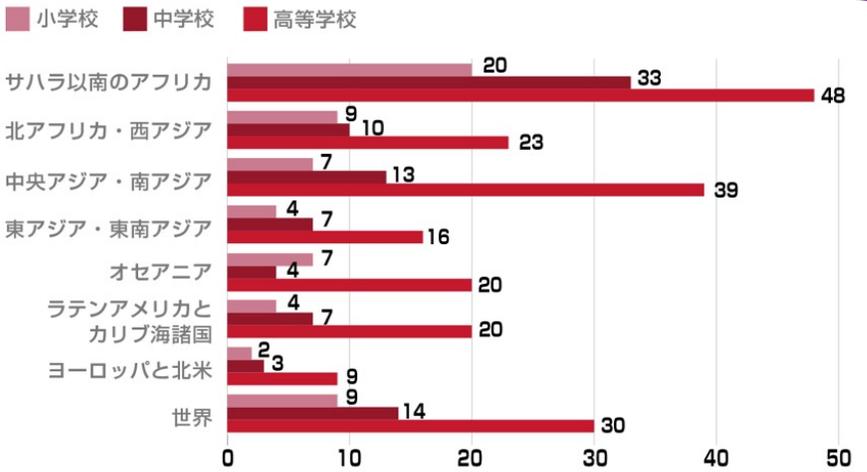
上のグラフは、2021年の調査で学校へ通えない子どもの割合を示しています。一番上は小学校、真ん中は中学校、一番下は高等学校に通えない子どもたちの割合を表しています。これを見ると世界中のいろいろな場所で、子ども達が学校に通えていないことが分かります。私たちが生活しているヨーロッパと、サハラ以南のアフリカの小学校に通えない子どもの割合を比べてみましょう。ヨーロッパは、全体の約2%であるのに対して、サハラ以南の子ども達は20%が、小学校に通えていないことが分かります。つまり、サハラ以南のアフリカでは、五人に一人の子ども達が、小学校へ通えていない現実です。小学校、中学校、高等学校と比べて見ると、年齢が高くなるほど、学校に通えない子どもの割合は増加していることが分かります。世界全体の割合は30%つまり三人に一人が学校に通えません。子ども達が学校へ通えないということは、学習のチャンスが与えられず、文字を書いたり読んだりすることができず、自由な将来を思い描けないと思います。このような子ども達がいる現実には、世界の人々が目を向けて、自分たちができることを考えていくことが大切だと思います。

【参考】 UNESCO Institute for Statistics, 2022 (UNICEF SDGs CLUB)

上のグラフは、2021年の調査で学校へ通えない子どもの割合を示しています。一番上は小学校、真ん中は中学校、一番下は高等学校に通えない子どもたちの割合を表しています。これを見ると世界中のいろいろな場所で、子ども達が学校に通えていないことが分かります。私たちが生活しているヨーロッパと、サハラ以南のアフリカの小学校に通えない子どもの数とを比べてみましょう。ヨーロッパは、全体のたった2%であるのに対して、サハラ以南の子ども達は20%が、小学校に通えていないということが分かります。つまり、サハラ以南のアフリカでは、五人に一人の子ども達が、小学校へ通えていない現実です。小学校、中学校、高等学校と棒グラフの割合を比べると、年齢が高くなるほど、学校に通えない子どもの割合は増加していることが分かります。世界全体で見ると14%、つまり七人に一人が中学校に通えず、高等学校では30%つまり三人に一人が学校に通えません。子ども達が学校へ通えないという事は、学習のチャンスが与えられずに、文字を書いたり読んだりすることができず、自由な将来を思い描けな

いと思います。このような子ども達がいる現実には、世界の人々が目を向けて、自分たちができることを考えていくことが大切だと思います。

学校に通えない子どもたちの割合(2021年)

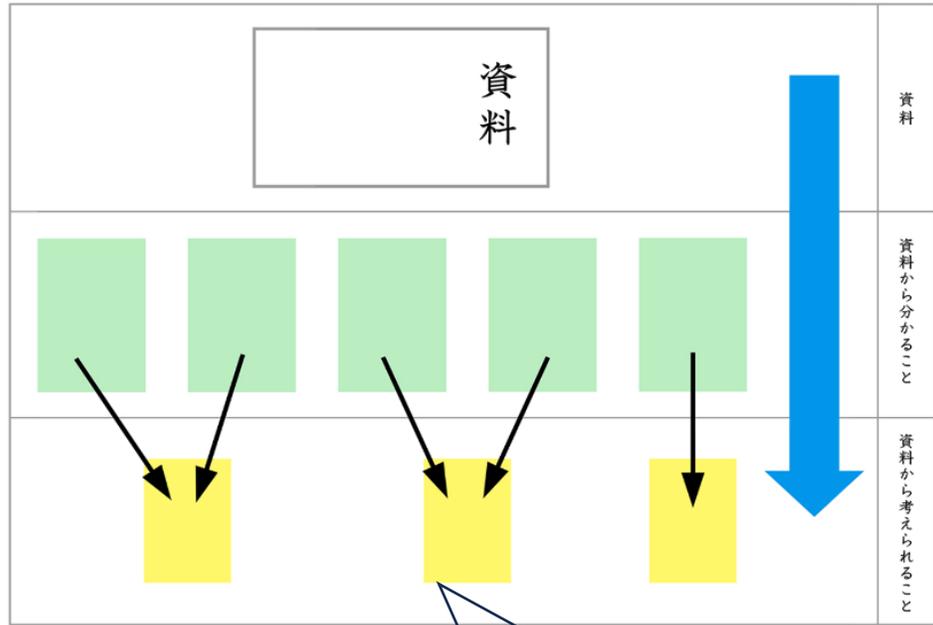


◎ 中・資料の読み取り

グラフや表を説明するときのポイント

- ①何を表すグラフなのか
- 何を示しています。
- 何を表しています
- ②注目すべき言葉や数字から
- ③資料から分かること
- ④資料から考えられること
- ⑤引用した資料名を資料の近くに書く

<情報整理シート> 資料の情報を整理するためのシート

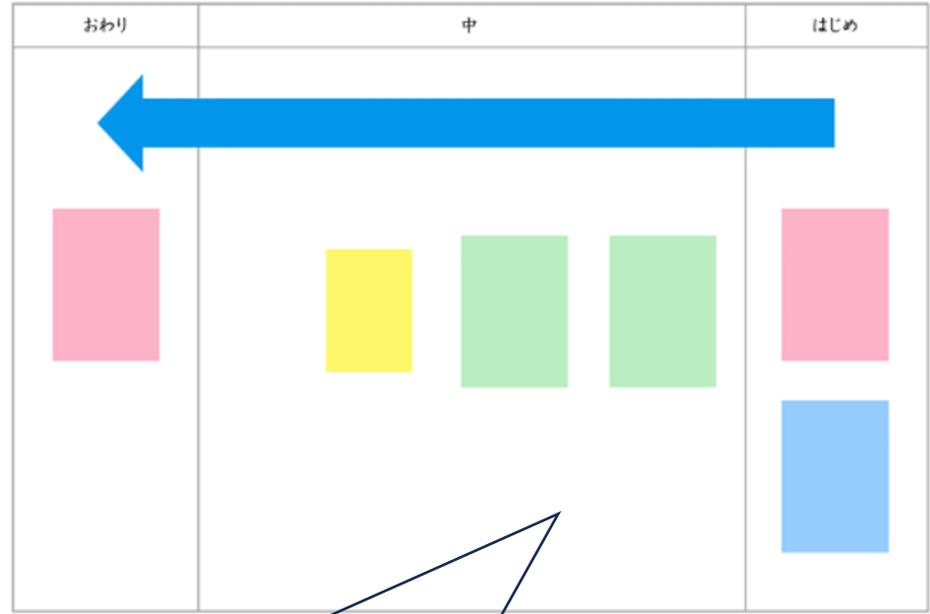


◎情報整理シート

資料から
分かること
を整理する

資料から
考えられること
を整理する

<構成シート> 資料と自分の考えとのつながりを詳しく考えるためのシート



◎構成シート

自分の意見
その理由
資料から分かったこと
資料から考えたこと

文章の構成を考え、資料と自分の考えのつながりを確かめる

めあて3

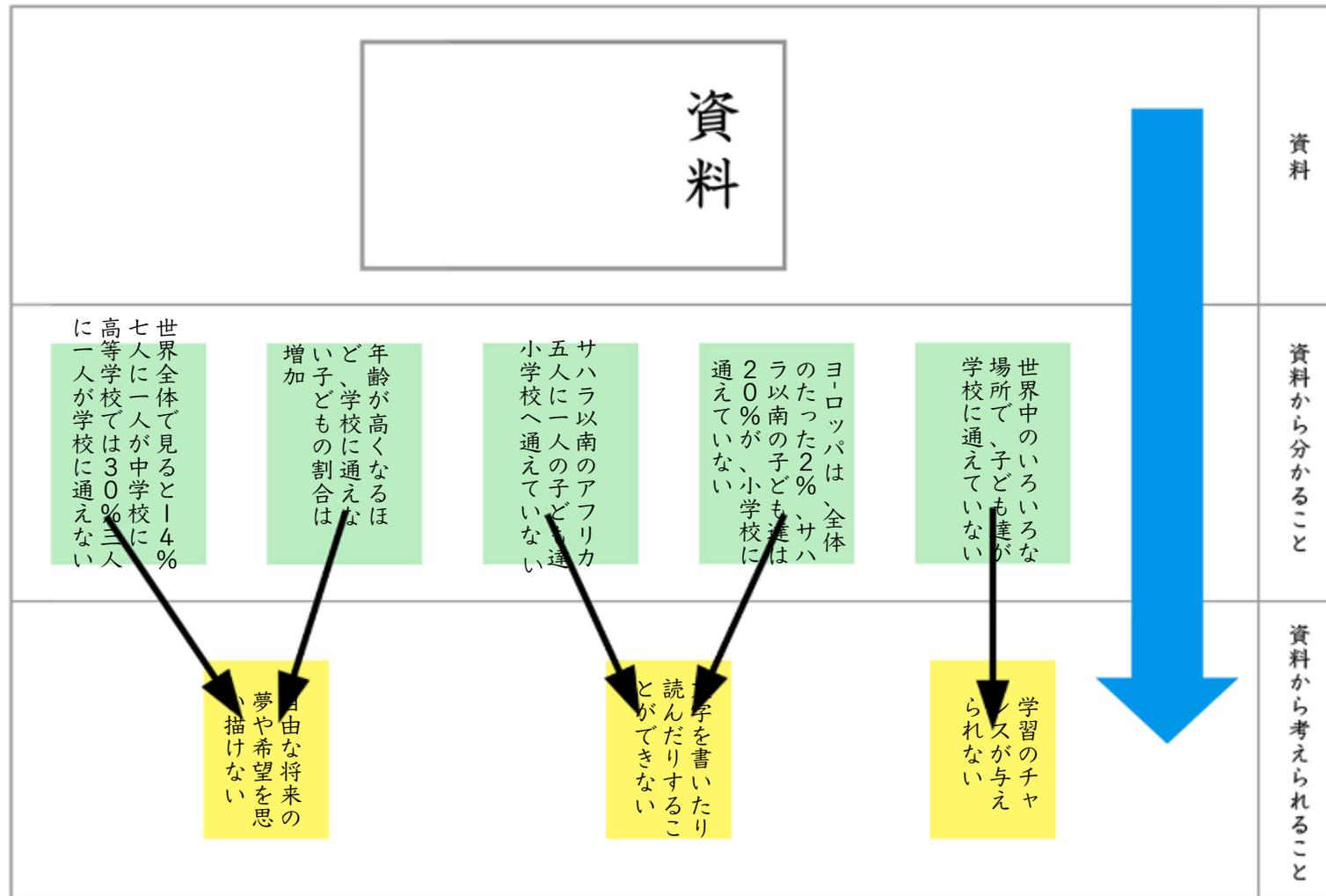
集めた資料の情報を整理して資料を用いた意見文の下書きを書こう

<構成シート> 資料と自分の考えとのつながりを詳しく考えるためのシート

おわり	中	はじめ
<p>世界中の子ども達が学校に通うことができ、自由に希望にあふれた夢や将来を思いえがけたら、地球上にはもつと子ども達の笑顔がふれる</p>	<p>子ども達が学校へ通えないということは、学習のチャンスが与えられず、文字を書いたり読んだりすることができない</p> <p>年齢が高くなるほど、学校に通えない子どもの割合は増加</p> <p>ヨーロッパは、全体のたった2%、サハラ以南の子ども達は20%が、小学校に通えていない</p>	<p>世界中の子ども達が学校に通い、質の高い教育を受けられることが大切だと思う</p> <p>子ども達には未来があり、かなえたい夢や将来の目標のために学ぶ必要があるから</p>



<情報整理シート> 資料の情報を整理するためのシート



資料の効果を考えて説得力ある意見文を書こう

自分たちがつくる「持続可能な世界」

終わり	中	初め
<p>★結論 自分の考えのまとめ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 分かったこと・ 自分の考え・ 行動宣言	<p>★資料(グラフや表)の提示 その分析・解釈 考察</p> <ol style="list-style-type: none">① 何の資料か② 資料の説明③ 資料から分かること④ 資料から考えられること	<p>★話題提示</p> <ul style="list-style-type: none">・ 調べたこと・ その理由・ 自分の考え・ その理由
<ul style="list-style-type: none">・ このように〜になっています・ 〜といえます・ 〜といえるでしょう・ 〜と思います	<ol style="list-style-type: none">① このグラフ・表は 〜を示しています② このグラフ・表は 〜を表しています③ これを見ると 〜ことがわかります 〜と〜を比べてみましょう④ 〜ということは 〜と思います 〜ということが考えられます	<ul style="list-style-type: none">・ わたしは 〜について調べました なぜなら〜からです・ わたしは 〜と思います なぜなら〜からです

友達と読み合って下書きを推敲(すいこう)し
選んだ資料と自分の考えのつながりを考え話し合おう

◎文章構成・話型や文末表現の確認



<参考>	終わり			中			初め					
<p>★参考資料 参考にした資料名や ウェブサイトなどの出展を 明記</p>	<p>★結論 自分の考えのまとめ</p> <p>①分かったこと</p> <p>②自分の考え</p> <p>③行動宣言</p>			<p>★資料(グラフや表)の提示 その分析・解釈・考察</p> <p>①何の資料か</p> <p>②資料の説明</p> <p>③資料から分かること (注目する言葉や数字を示す)</p> <p>④資料から考えられること</p>			<p>★話題提示</p> <p>①調べたこと</p> <p>・その理由</p> <p>②自分の考え</p> <p>・その理由</p>		<p>文章構成の確認</p>		<p>話型や文末表現の確認</p>	
<p>(例) 【参考】 UNESCO Institute for Statistics. 2022 (UNICEF SDGs CLUB)</p>	<p>①このように〜ということを述べました ・〜といえます ②〜といえるでしょう 〜と思います ③持続可能な世界をつくるために 〜したいと思います</p>			<p>①〜のグラフ・表は、〜を示しています</p> <p>②〜のグラフ・表は、〜を表しています</p> <p>③これを見ると〜ことがわかります と〜を比べてみましょう</p> <p>④〜ということだと思います 〜ということが考えられます</p>			<p>①わたしは、〜について調べました。 なぜなら〜からです。</p> <p>②わたしは、〜と思います。 なぜなら〜からです。</p>		<p>①</p> <p>②</p>		<p>自己評価</p> <p>友達 ①</p> <p>友達 ②</p>	

◎資料を用いた意見文
見直し・推敲(すいこう)確認

確認する推敲(すいこう)の項目(こうもく)	自己評価	友達①	友達②
① 【題名】 調べたテーマや課題に合っていて、読み手や聞き手を引きつけている。			
② 【構成】 初めと終わりで、自分の意見がくり返し述べられている。			
③ 【段落】 初め・中・終わりで段落に分けて、文章の初めを一マスあけている。			
④ 【漢字】 五年生までに習った漢字を使えている。			
⑤ 【語彙(ごい)・句読点】 語彙(ごい)・句読点・記号をルール通りに使えている。			
⑥ 【意見の表現】 自分の意見とその理由(なぜなら)だからですが、書けている。			
⑦ 【資料(表やグラフ)】 意見文の目的に合った効果的な資料を選んでいる。			
⑧ 【資料と文章のつながり】 資料と文章のつながりや対応を考えて、説得力ある文章を書けている。			
⑨ 【事実と考えの書き分け】 資料から分かること(事実)と、自分が考えたこと(意見)を分けて、文末表現に気をつけて書く。			

めあて5

友達と意見文を発表し合い
 「自分たちでつくる持続可能な世界」について
 考えを広げたり深めたりして
 「説得力ある書き表し方」をふり返ろう

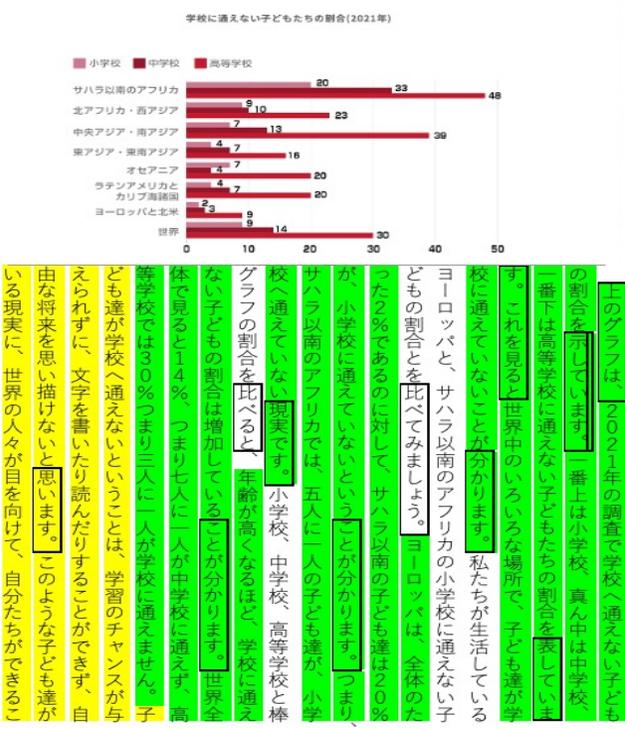


初め	中	終わり
<p>★話題提示</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたこと その理由 	<p>★資料 (グラフや表) の提示 その分析・解 釈 考察</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 何の資料か ② 資料の説明 ③ 資料から分かること ④ 資料から考えられること 	<p>★結論 自分の考えの まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かったこと 自分の考え 行動宣言
<p>わたしは について調べまし た なぜならからです わたしは と思います</p>	<p>①のグラフ・表は を示しています ②このグラフ・表は を表しています ③これを見ると ことがわかります 比べてみましょう ④このことは と思います ということが 考えられます</p>	<p>このように、 を資料をもとにし て) ことを述べました といえます といえるでしょう と思います</p>

世界中の子ども達に、笑顔あふれる質の高い教育を

井上希美

わたしは、世界のすべての子ども達が、学校に通っているのかについて調べてみました。なぜならインドへ旅した時に、学校へ通うことができずに昼間から家族のために働いている子どもに出会ったからです。日本では、小学校・中学校は、義務教育があり、子ども達は学校に通っていますが、紛争や自然災害、貧困などにより学校に通えない子どもが、世界には約6700万人いるそうです。わたしは、世界中の子ども達が学校に通い、質の高い教育を受けるチャンスを与えられることが大切だと思っています。なぜなら子ども達には未来があり、かなえない夢や将来の目標のために学ぶ必要があるからです。



このように、グラフをもとにして
 べました。当たり前のように学校へ通うことができているわたし達も、学校に通えない子ども達に目を向けることで、今学校で学んでいることに感謝がわいてきます。世界中の子ども達が学校に通うことができ、自由に希望にあふれた夢や将来を思いあげたら、地球上にはもっと子ども達の笑顔があふれるでしょう。わたしは、ユニセフなどの国際機関に募金や寄付をたい、さまざまな教育支援のプログラムをもっと調べたりして、自分のできる支援をしていきたいです。
 【参考】 UNESCO Institute for Statistics, 2022 (UNICEF SDGs CLUB)



自分の考え・・・ピンク
 その理由・・・水色
 資料から分かったこと・・・緑
 資料から考えられること・・・黄色

友達と意見文を発表し合い
「自分たちでつくる持続可能な世界」について
考えを広げたり深めたりして
「説得力ある書き表し方」をふり返ろう

◎ペアでの発表の仕方

↓聞き手が右に移動して二人に発表

①場設定・・・外側↓発表者
内側↓聞き手

②発表時間 発表二分 感想二分 移動一分

◎交流するときの視点

①話し手・・・資料や文を指し示しながら、
相手に説得力ある伝え方を工夫

②聞く手・・・3つの視点を持って聞き
感想を色分けしたふせんに記入

ピンク・・・内容面

友達の意見や考え
に関すること

内容面

- ・飢餓の原因
↓自然災害や紛争
- ・00さんの意見
↓世界の飢餓をなくしたい
- ・身近にできること
↓フードバンクに寄付
↓フードロスをなくす

井上希美

水色・・・表現面

- ・文末表現
- ・資料に注目させる言葉
- ・文章と資料のつながり

表現面

- ・「が分かります↓事実
- ・「を示しています↓グラフの説明
- ・地域には「万人
- ・世界の人口の△%
- ・「と「を比べると
- ・〇年を見ると

井上希美

黄色・・・資料の効果

意見
考えと資料のつながり

資料の効果

- ・意見↓地球の気温上昇
- ・グラフの読み取り↓気温上昇
- ↓意見と資料が合っている(整合性)
- ・結論で
「このようにグラフもとにして」と
とゴミの減少について
グラフを用いて意見を述べていた
↓説得力があった

井上希美

友達と意見文を發表し合い
「自分たちでつくる持続可能な世界」について
考えを広げたり深めたりして
「説得力ある書き表し方」をふり返ろう

◎学習のふり返り(自己評価)

①情報の整理

- ・資料の読み取り
- ・自分の考えと資料が合っているか(整合性)

情報整理シート
構成シート

②文章と資料のつながり

- ↓自分の考えに説得力をもたせる
- ↓資料の言葉や数字に注目



○と△を比べると ○は△より
一番多い年は(少ない)年は
その差は、
増加している(減少)している

グラフ・・・変化がわかりやすい
表・・・二つ以上のものを比べやすい

③自分の考えと資料のつながり

- ↓自分の考えを裏付ける効果的な資料を選ぶ

- ・初めと終わりで意見のくり返し
- ・資料から考えられることを伝える
- ・このように
資料をもとにして、ということを書きました



この学習をこれから学習や生活に
活かしていこう